学校番号	２１２

令和３年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ｂ	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	「新選　日本史Ｂ」　（東京書籍）						
副教材等	「三訂版　最新図表」　（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

1. 本校には、進学希望者だけでなく、就職希望者もいるので、基本的な内容を基本的な技能を使って扱う中で、歴史に関する関心や意欲を高め、日本の歴史と今後の日本について考え、表現するような授業展開をはかる
2. 生徒たちが、選挙権を獲得し、政治に参加していくこともふまえ、歴史上の課題などを、現在の問題に置き換え、「自分ならどうするか」ということを考えることを繰り返す中で、自分のあり方・生き方や社会のあり方を考えられるような授業展開をはかる

2　学習の到達目標

１．日本の歴史の展開を、諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察する
２．各時代の特色とその変遷の総合的考察を通じて、日本の文化と伝統の特色についての認識を深める
３．歴史的思考力を培い、国際社会に生きる日本国民としての自覚と資質を養う

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c: 資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	歴史的事象と現在との結びつきを意欲的に調べ、考え、歴史を学ぶ意味に気づき、関心を持って、意欲的に追求しようとしている。また、現代の社会が抱える諸課題について、主体的に取り組み、考える態度を身につけてようとしている。	日本の歴史の展開から課題を見出し、世界の歴史や国際環境等と関連付けて、多角的、多面的に考察し、さまざまな理解や立場があることを踏まえて、公正に判断し、適切に表現している。	教科書に記載されている史料や、担当者の方で選択した史料を読み取ることができる。（文字史料の意味を理解したり、絵画史料から当時の様子をイメージしたりすることができる）	基本的な歴史事象に関する知識を身につけ、日本の歴史の展開を、地理的条件や世界の歴史と関連付けて、各時代の特色を理解している。
評価方法	感想文、レポート	授業における教師からの発問に対する回答 定期考査	授業における史料読解の作業における取り組み 定期考査	定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期中	第1章　古代国家の形成と貴族文化の誕生	原始社会の生活と文化 1. 更新世の日本 2. 縄文文化 農耕社会の形成と大陸文化の摂取 1. 弥生文化と小国家の形成 2. 大和王権と古墳文化 律令国家の形成と古代文化の展開 1. 飛鳥の朝廷と文化 2. 律令国家の成立と白鳳文化 3. 平城京と天平文化 摂関政治と文化の和様化 1. 平安遷都と唐風文化 2. 貴族社会と摂関政治 3. 国風文化	 ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:日本列島の誕生や日本人の形成に関心を持ち、国家形成の仕組みかかわる過程や課題を意欲的に追求しようとしている b:それぞれの時代や文化を出土品や歴史書などを通して考察し、自らの考えを適切に表現している c:出土品や歴史書からを活用して適切に情報を読み取っている d:それぞれの時代の人々の暮らしについて理解し、さまざまな文化の特徴に関する知識を身に付けている	授業時の発問 史料読解 ノート提出 テスト
1学期期末	第2章　武家社会の形成と生活文化のめばえ 第3章近世社会の形成と庶民	中世社会の成立 1. 院政と荘園 2. 平氏政権の登場 3. 鎌倉幕府の誕生 4. 執権による政治 5. 元寇と社会の変貌 6. 鎌倉の仏教と文化 武家社会の形成と東アジア 1. 室町幕府の創設 2. 倭寇と東アジアの交易 3. 下剋上の社会と戦国大名 4. 室町文化 ヨーロッパ文化との接触と国内統一 1. ヨーロッパ文化との接触 2. 織豊政権による全国統一 3. 桃山文化	 ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 	a:武士の誕生、統一政権の成立に至る過程や鎖国の影響、そして幕藩体制がしだいに動揺していく過程に関心を持ち、意欲的に追究しようとしている b:武家社会の成立や織豊政権の政策について考察・判断し、それを適切に表現している c:鎌倉幕府や室町幕府、織豊政権に関する史料を読み、その内容を読み取っている d:織豊政権から江戸時代の政治・経済・文化に関する知識を身につけている	授業時の発問 史料読解 ノート提出 テスト

2学期中間	第3章近世社会の形成と庶民文化の展開 第4章近代国家の形成と国民文化の発展	幕藩体制の成立 1. 江戸幕府と大名・朝廷 2. 身分制度の確立 3. キリスト教禁止と鎖国 近世社会の発達と町人文化 1. 幕府政治の進展 2. 経済と産業の発達 3. 学問の新傾向と元禄文化 幕藩体制の動揺と庶民文化の発達 1. 幕藩体制の動揺と政治改革 2. 幕藩体制の危機 3. 新しい学問の形成と化政文 化 開国から明治維新へ 1. 開国 2. 幕府の滅亡 3. 統一国家の成立 4. 近代国家をめざして 5. 殖産興業と文明開化 6. 明治初期の国際情勢	 ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:幕藩体制が次第に動揺し、開国から幕府の滅亡、そして新政府の成立と発展に関心を持ち、意欲的に追究している b：開国に至った背景や、江戸幕府が倒れていく過程、新政府がとった政策について考察・判断し、それを適切に表現している c:江戸幕府の改革や新政府の政策に関する史料や、明治時代に外国人が描いた風刺漫画などから、当時の社会の様子を読み取ることができる d:江戸幕府の諸改革や新政府の諸政策や対外関係に関する知識を身につけている	授業時の発問 史料読解 ノート提出 テスト
2学期期末	第4章近代国家の形成と国民文化の発展	立憲政治の形成と国民文化 1. 政府専制への批判 2. 立憲政治の成立 3. 新しい文化の形成 日本の近代化と東アジア 1. 日清戦争と東アジアの変容 2.「中国分割」と日露戦争 3. 工業化と資本主義の発達 大正デモクラシーと第一次世界大戦 1. 第一次世界大戦と日本 2. 新たな国際秩序と日本への影響 3. 大衆社会の形成 激動する世界と日本 1. 揺れ動く経済と中国侵略の本格化 2. 日中戦争と国内体制の改編 3. 太平洋戦争	 ○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a: 日清・日露戦争とその前後のアジアや欧米諸国との関係の推移、大正デモクラシーや、第一次世界大戦、第二次世界大戦へ至る経過とその結果、戦後の社会の変化の大きさに関心を持ち、意欲的に追究しようとしている b: 日本の国内事情や当時の国際関係に着目しつつ、日清、日露、第一次世界大戦の経過や結果について考察、判断し、それを適切に表現している c:地域に残る戦争史料や新聞・雑誌・漫画などから当時の社会の様子を読み取ることができる d:戦争に傾斜していく過程や戦争の結果を踏まえて、実施された内政や外交に関する知識を身につけている	授業時の発問 史料読解 ノート提出 テスト

3学期	第5章現代の世界と日本	占領と国内改革 1. 占領日本国憲法 2. 冷戦の開始と経済復興 国際社会への復帰と高度経済成長 1. 国際社会への復帰と対米協力 2. 経済の高度成長 石油ショックと低成長の時代 1. 1970年代の国際社会と日本 2. 安定成長への転換 新しい国際秩序と日本の課題 1. 激動する世界と日本 2. 停滞する日本経済と成長するアジア	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 	a:経済の発展や国際社会における日本の役割、現代日本の抱える課題などに関心を持ち、意欲的に追究しようとしている b:国内事情や国際関係にもとづき、なぜ第二次世界大戦に参戦することになったのか、その結果に対する反省から生まれた日本国憲法の性格について、考察・判断し、それを適切に表現している c:新聞・雑誌などを活用して現代の日本と世界の関係について読み取ることができる d:戦後の世界と日本の変化の過程に関する知識を身につけている	授業時の発問 史料読解 ノート提出 テスト

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:　資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。